平成１２年７月

安田火災記念財団 News

●発行者：財団法人安田火災記念財団　〒160-8338　東京都新宿区西新宿 1-26-1
TEL:03-3349-3130　FAX:03-3349-3133　http://www.yasuda.co.jp/foundation/　E メール:fvgp3340@mb.infoweb.ne.jp

今年も 100 団体に総額 3,000 万円を助成

― ＮＰＯ法人設立資金助成 ―

平成 12 年度の社会福祉（ＮＰＯ法人設立資金）助成の助成先は、6 月 1 日開催の選考委員会において、全国から応募された 257 件の申込書を慎重に審査の結果、前年度に引き続き 100 件、1 件あたり 30 万円、総額 3,000 万円の助成が、次の通り決定しました。贈呈式は 7 月以降、全国各地で開催されます。

	都道府県別	団体名		都道府県別	団体名
1	北海道	旭川ふれあい福祉会	26	埼玉	ケアー明日葉
2	北海道	社団法人長寿社会文化協会 札幌支部	27	千葉	市川ユーアイ協会
3	北海道	「わたぼうしの家」 設立準備委員会	28	千葉	船橋障害者自立生活センター
4	北海道	サポート２４	29	千葉	セカンドホーム「ロンの家」
5	北海道	地域生活支援ネットワークサロン	30	東京	ＭＥＷ運営委員会
6	北海道	放課後生活支援センター わいわいクラブ	31	東京	なごみ会
7	青森	ＳＡＮ ＮＥＴ	32	東京	世田谷区聴覚障害者協会
8	岩手	レスパイトハウス・ハンズ	33	東京	にじのこ
9	宮城	ケアサポートぬくもり	34	東京	カサ デ オリーバ
10	宮城	全国コミュニティライフサポート センター	35	東京	介助支援サービスカー バイユアセルフ
11	山形	民間宅老所「あゆみの家」	36	東京	日本障害者高等教育支援センター
12	福島	いわき自立生活センター・ えんじょい	37	東京	葛飾区ボランティア連絡協議会
13	茨城	ワークスたんぽぽを支える会	38	東京	市町村障害者生活支援事業 全国連絡協議会
14	茨城	ライフサポート水戸	39	東京	ＲＤＡ Ｊａｐａｎ
15	茨城	チャレンジャーズスクエア まぐろ工房	40	東京	杜の会
16	茨城	あすなろ福祉市民の会	41	東京	小規模作業所 りばてい運営委員会
17	栃木	にこにこデイホーム	42	東京	町田ハンディキャプ友の会
18	栃木	デイホームやわらぎ	43	東京	練馬高齢者組合
19	群馬	群馬県知的障害者地域ホーム連絡会	44	東京	あじさい共同作業所 運営委員会
20	群馬	地域メンタルヘルスの会	45	東京	ピュア・サポート
21	埼玉	高齢者・障害者の家 だんらん	46	東京	障害者福祉団体 あらぐさ会
22	埼玉	メイ(MAY)文庫	47	東京	多目的企画
23	埼玉	河口産業（有）附属施設 はぐくみ作業所	48	東京	グループ・シニアライフを考える会
24	埼玉	生活サポートさくら草	49	東京	つむぎ子育て研究所
25	埼玉	ケア・ハンズ	50	東京	三鷹市障害者ワーククラブ

	都道府県別	団体名		都道府県別	団体名
51	東京	パーソナルケアサービスみもざ	76	大阪	自立生活センターまいど
52	東京	東京アドヴォカシー法律事務所	77	大阪	視・聴覚二重障害者福祉センター「すまいる」
53	東京	片麻痺ネットワーク	78	大阪	寝屋川市民たすけあいの会
54	東京	ハンディキャブゆづり葉	79	兵庫	西宮地域たすけあいネットワーク
55	神奈川	茅ヶ崎精神保健ボランティアグループ「凡樹瑠」	80	兵庫	兵庫県ボランティア協会
56	神奈川	日本ティーボール協会神奈川県連盟	81	兵庫	兵庫県腎友会
57	神奈川	横浜らんぽ	82	兵庫	パラレルサポート
58	神奈川	湘南ふくしネットワーク	83	島根	出雲いきいきネットワーク
59	神奈川	地域で生きる障害者を支える会	84	岡山	こどもとともに交流会
60	新潟	新潟マックを支える会	85	広島	広島県手話通訳問題研究会
61	富山	富山いきる場センター	86	広島	障害者生活支援センター・てごーす
62	富山	憩いの家まごの手	87	山口	ウッド・ムーン
63	長野	腹話術友の会おかや	88	愛媛	Bu.system
64	長野	日本聴導犬協会	89	高知	ひかりの会
65	岐阜	配食サービス「なでしこ」	90	福岡	福祉作業所わくわくランド
66	静岡	静岡県中途失聴・難聴者協会	91	福岡	北九州自立生活センター
67	静岡	知的障害児者・クリエイティブサポート「レッツ」	92	佐賀	中原たすけあいの会
68	愛知	外国人医療センター	93	佐賀	ふくしさとづくりの会
69	愛知	デジタル編集協議会「ひなぎく」	94	佐賀	全国ＩＤＤＭ連絡協議会
70	三重	わたぼうし	95	長崎	コロニー雲仙連合育成会
71	滋賀	スペースウィン	96	熊本	やつしろ配食サービスワーカーズ「パセリ」
72	滋賀	差別とたたかう共同体全国連合	97	熊本	在宅支援ゼネラルセンターゼネッセ
73	京都	こもれび運営委員会	98	宮崎	はにわの会仲間の家
74	大阪	デーセンター夢飛行	99	宮崎	宮崎２１高齢者福祉研究会
75	大阪	ゆめ・風10億円基金	100	沖縄	ゆいネットワークあいあい

インターネットの利用者激増

今回の応募で特に目を惹いたのは、応募者の間でインターネットの利用が、一年前と比較して著しく増加しているという事実です。

助成情報の入手先の第１位は、従来どおり各地の社会福祉協議会から入手したと回答したものが多く、全体で７６件を数えましたが、第３位はインターネットホームページで、４３件となっており、時代の急激な変化がうかがえます。

当財団のホームページは、NPOに関する資料や関係団体のリンクが充実しており、また過去の助成先が都道府県別に表示されています。また各方面からのリンク依頼もあり、最近ではかなり多くの方々が閲覧されているようです。

２０００以上のNPO法人が誕生

昨年から誕生したNPO法人は、６月１６日現在、２千件を超えました。都道府県別の認証件数の上位と下位のベスト５は次の通りです。

認証件数の多い都道府県

１．	東京都	４６１件
２．	経済企画庁	１５７件
３．	神奈川県	１３９件
４．	大阪府	１３４件
５．	北海道	９６件

認証件数の少ない都道府県

１．	鹿児島県	３件
２．	大分県	５件
３．	福井県	６件
４．	鳥取県	８件
４．	徳島県	８件

地域災害に対する緊急助成

―臨時理事会開催―

有珠山の噴火に伴い、多くの方々が被害を被り、不自由な生活を強いられています。障害者が通所する作業所も数カ所が閉鎖されているようです。

当財団は、先の阪神・淡路大地震の際に迅速な対応をしたことで評価を受けましたが、今後地域災害発生時に、障害者福祉関係で緊急な助成を要請される場合に備えて、会議会合、国際交流費５００万円の枠の中で、地域災害に対する助成を行うことを、持ち回りの臨時理事会で決定いたしました。

今回の有珠山対応は、現地に関係各方面からの支援が集まりつつあるところから、財団としては当面は静観していますが、今後発生する地域災害で、関係者から緊急に要請があった場合は、随時選考委員会を開催し、緊急に対応する予定です。

なお、規模が大きい災害に備えて、当財団は通常よりかなり大きな１０００万円の予備費を予算化しています。

平成１１年度の決算

―定例理事会開催―

平成１１年度の決算を審議する定例理事会は、６月２７日、東京西新宿の安田火災海上本社ビル４３階で開催され、原案通り承認可決されました。

平成１１年度収支計算書

（単位:千円）

項　目	決算額	予算差額
収入の部		
１．基本財産運用収入	15,241	△3,241
２．寄付金収入	97,590	△7,590
３．雑収入	65	135
４．基本財産収入	20,000	0
当期収入合計	132,896	△10,696
前期繰越収支差額	36,873	△32,373
収入合計	169,768	△43,068
支出の部		
１．事業費計	60,845	10,155
（１）社会福祉事業	43,907	4,093
（２）福祉諸科学事業	12,097	3,903
（３）文献表彰事業	4,841	2,159
２．管理費計	23,108	1,692
（１）人件費	17,186	814
（２）物件費	5,922	878
３．基本財産支出	40,262	△29,262
４．特定預金支出	100	△100
５．予備費	0	10,000
当期支出合計	124,314	1,486
当期収支差額	8,581	△12,181
次期繰越収支差額	45,454	△44,554

平成１２年度貸借対照表

（単位:千円）

項　目	金　額
Ⅰ資産の部	
１．流動資産計	50,666
（現金預金）	(38,398)
（有価証券）	(12,257)
（仮払金）	(11)
２．固定資産計	870,578
基本財産計	870,000
（投資有価証券）	(565,000)
（定期預金）	(305,000)
その他固定資産計	578
（什器備品）	(478)
（退職給与引当預金）	(100)
資産合計	921,244
Ⅱ．負債の部	
１．流動負債	5,212
（未払金）	(4,830)
（預り金）	(381)
２．固定負債	100
（退職給与引当金）	(100)
負債合計	5,312
Ⅲ．正味財産の部	
正味財産	915,932
（うち基本金）	(870,000)
（うち当期正味財産増加額）	(48,653)
負債及び正味財産合計	921,244

財団への寄付

―　皆様方のご協力をお願いします　―

最近は多くの方々から、財団に対し寄付をいただくようになりました。当財団の平成11年度収支計算書に記載されている運用財産としての寄付金収入は9,759万円で、そのうち9,000万円が安田火災海上保険株式会社から、残る759万円が、その他からとなっています。

759万円の内訳は、安田火災関連会社など法人関係26件、431万円、個人は19件で328万円となっています。

個人寄付の理由としては冠婚葬祭のお返しが圧倒的に多い中で、90歳を超えた安田火災OBの方から、毎年の誕生日毎に一定額をご寄付いただいているケースもあり、財団関係者一同大変感激しております。

なお本年度からは、安田火災海上保険株式会社社員各位が毎月の給与から一定額を寄付して集めた「***ちきゅうくらぶ社会貢献ファンド***」の一部を、当財団に寄付していただくことになっています。

当財団は特定公益増進法人の資格を得ていないため、個人寄付の場合、誠に残念ながら税制上の恩典はありません。

後藤理事長から有吉理事長へ

―理事長、専務理事が交代―

７月１日付けで、財団役員の人事が変わりました。平成１２年度第１回理事会において、昭和６１年、三好武夫理事長に継いで第２代目の理事長に就任した後藤康男理事長が理事長職を退くこととなり、第３代目理事長に、有吉孝一副理事長が就任しました。

また、６月末で服藤收副理事長と堀内生太郎専務理事も理事を辞任し、専務理事の後任には、田中皓（前安田火災海上保険株式会社仙台支店長）が就任いたしました。

新しい役員名簿は次の通りです。

理事長	有吉孝一	（安田火災海上保険株式会社相談役）
専務理事	田中皓	（専任）
理事	鴻常夫	（法学博士・東京大学名誉教授）
理事	金田一郎	（財団法人日本社会福祉弘済会理事長）
理事	後藤康男	（安田火災海上保険株式会社名誉会長）
理事	戸澤政方	（元衆議院議員）
理事	西嶋梅治	（法学博士・法政大学名誉教授）
理事	森島昭夫	（財団法人地球環境戦略研究機関理事長）
理事	和田正江	（主婦連合会会長）
監事	斎藤昭一	（監査法人太田昭和センチュリー代表社員）
監事	望月純	（安田火災海上保険株式会社経理部長）

第１回安田火災記念財団賞
贈呈式開催

―　厚生大臣から祝辞　―

社会福祉に関する優れた学術文献を表彰する、第１回（平成１１年度）安田火災記念財団賞の贈呈式が、去る５月２４日、安田火災本社ビル４３階で開催されました。

金子、筒井両氏が受賞

栄えある第１回の受賞者は、著書部門が、「ビアトリス・ウェッブの福祉思想」をドメス出版から刊行された淑徳大学助教授金子光一氏、論文部門は、「介護保険制度下におけるケアシステムの未来」を２回にわたって社会保険旬報に掲載された国立公衆衛生院主任研究官筒井孝子氏のお二人で、それぞれ賞状と記念品(万年筆)、副賞として研究助成金（著書部門１００万円、論文部門３０万円）が、有吉副理事長から手渡されました。

厚生大臣祝辞

当日は丹羽厚生大臣から、当財団の活動に対する期待を込めたご祝辞をいただきました。

記念講演会

表彰式に先立ち、お二人の受賞者による記念講演会を開催いたしました。

記念講演会の講演録は、財団叢書 No.62 として、近日中に発行予定です。この財団叢書は無料で配布いたしますので、ご希望の方は、財団事務局までご連絡下さい。

第２回安田火災記念財団賞

本年度の第２回安田火災記念財団賞は、平成１１年度中に発行された著書、論文を対象とし、現在、日本社会福祉学会や日本地域福祉学会の理事など指定推薦者の方々に、対象文献の推薦を依頼中です。

つぎの方々から寄付をいただきました。有難うございました。〈寄付日順〉

須田晄様
安田火災ちきゅうくらぶ本部様
安田火災海上保険株式会社様
安田火災遭星会様
安田火災ホットラインサービス株式会社様
加藤博之様

―安田火災記念財団ニュース―
発行日：平成１２年７月１日
発行者：財団法人安田火災記念財団
〒160-8338　東京都新宿区西新宿 1-26-1
電話 03-3349-3130　ﾌｧｯｸｽ 03-3349-3133
http://www.yasuda.co.jp/foundation/
<e-mail>fygp3340@mb.infoweb.ne.jp